

輝く“ふくろい”

まち・ひと・しごと創生総合戦略

やらまいかREPORT2017

進捗状況報告書【平成28年度版】



[写真]「第5回健康寿命を延ばそう! アワード」／「生活習慣病予防分野」・「介護予防高齢者生活支援分野」の両部門「優良賞」受賞

平成29年 8 月

袋 井 市

第1章	全体のまとめ	2
第2章	人口動態	3
第3章	総合戦略〔3つの挑戦／政策パッケージ〕	
挑戦1	若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦	5
	◇ふくろいトピックス1～6	11
挑戦2	ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦	15
	◇ふくろいトピックス7	20
挑戦3	健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦	21
	◇ふくろいトピックス8	26
第4章	戦略を支える取組〔第2次総合計画（再掲）〕	27
第5章	地方創生交付金等の活用状況	29
	◇ふくろいトピックス9	32
第6章	参考資料〔やらまいか通信（抜粋）〕	33

第1章 全体のまとめ

1. 人口動向の概要

- (1) 本市人口は87,557人（H29.4.1現在、前年対比383人増）と増加し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る結果となった。
- (2) 合計特殊出生率は「1.69」となり、0.04ポイント低下した。若年女性人口の減少と相まって、出生数も昨年度から42人減少したが、死亡数の減少により、自然の増減差は、84人と対前年比で25人増加。しかしながら、依然として子育て世代の市外転出超過に歯止めがかからず、転出の抑制に向けた対策が急務。
- (3) 県人口推計（H29.4.1）では、県全体人口は3,674,874人、平成27年国勢調査（H27.10.1）から25,431人（0.7%）の減少。人口増加は、本市をはじめ3市2町のみ。

2. 戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

■ 3つの挑戦のトピックス

挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

- (1) 電子黒板やプログラミング教材の整備など、先進的なICT教育環境の充実を図った。
- (2) 東名袋井IC付近の工場跡地について、県から新たに「内陸フロンティア推進区域」の指定を受けた。
- (3) 新たに産科医療施設2施設で出産が可能となったほか、子ども・子育て支援エリア「育ちの森」や妊産婦・子育て世代のワンストップ相談窓口「子育て世代包括支援センター」を開設した。
- (4) 「まちの国際化」の実現に向け、「国際交流体験事業ふくろい版ホームステイ」仕組みづくりのほか、「まちの国際化に向けたシティプロモーション行動計画」を策定した。

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

本市農産物の海外輸出を促進するため、グローバルGAPの認証取得支援、タイ現地トップセールス、「ふじのくに袋井うまいもんフェアin東京スカイツリータウン[®]」などを実施し、ブランド力の向上とビジネスモデルの確立を図った。特にクラウンメロンについては、東南アジアを中心とした海外輸出や国内消費の拡大により、箱単価の売上が過去最高となったほか、ピューレを利用した加工品へのニーズが高まったことで、規格外メロンの販路が確立され、市場外流通も大きく増加するなど、業績の改善と「稼ぐ力」の向上につながった。

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

「3Days Worker's Office構想」については、平成27年度の基礎調査及び方向性整理を踏まえ、労使双方や就労支援機関などを交えた座談会の開催や、「職場見学会」、「おためし就労」など、「新しい働き方」に向けた実証事業を実施したほか、本構想の理念を「地域、産業、市民の『三方よし』を目指すもの」と整理した。

3. 戦略の推進について

本戦略の推進にあたっては、総合計画の評価と併せ、施策の進捗や効果等について評価し、「輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議」を中心に幅広い分野の方々の意見を伺いながら、PDCAサイクルによる継続的な改善を図ることにより、地方創生の実現に向けて常に戦略の進化を追求していく。

第2章 人口動態

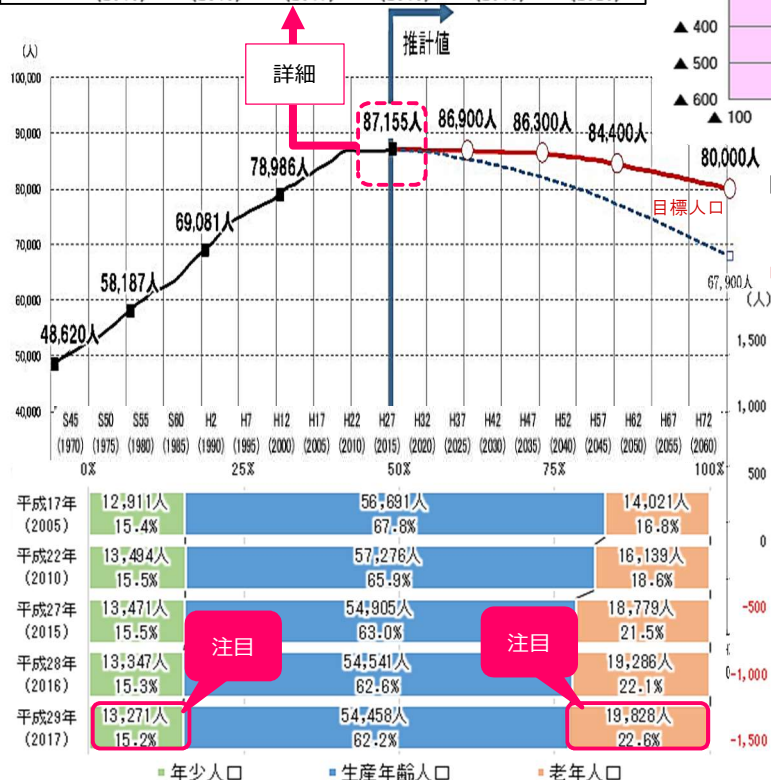
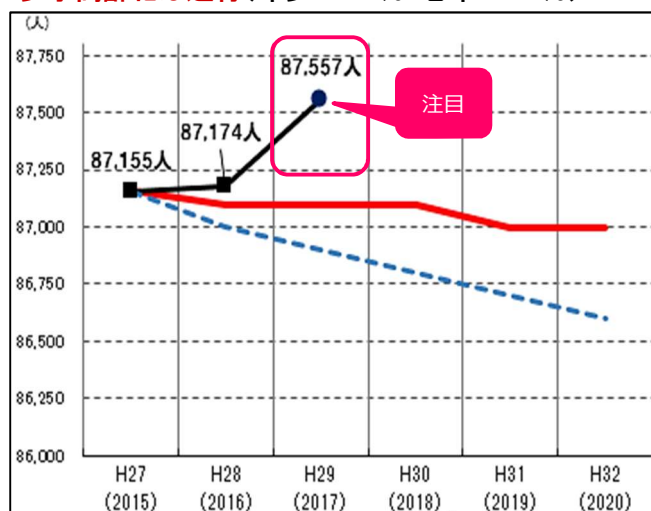
1. 現状と課題

- (1) 本市人口は87,557人（H29.4.1現在、前年対比383人増）と増加し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る結果となった。
- (2) 合計特殊出生率は「1.69」となり、0.04ポイント低下した。若年女性人口の減少と相まって、出生数も昨年度から42人減少したが、死亡数の減少により、自然の増減差は、84人と対前年比で25人増加。しかしながら、依然として子育て世代の市外転出超過に歯止めがかからず、転出の抑制に向けた対策が急務。
- (3) 県人口推計（H29.4.1）では、県全体人口は3,674,874人、平成27年国勢調査（H27.10.1）から25,431人（0.7%）の減少。人口増加は、本市をはじめ3市2町のみ。

2. 人口推計【3区分別人口】（平成29年4月1日現在）

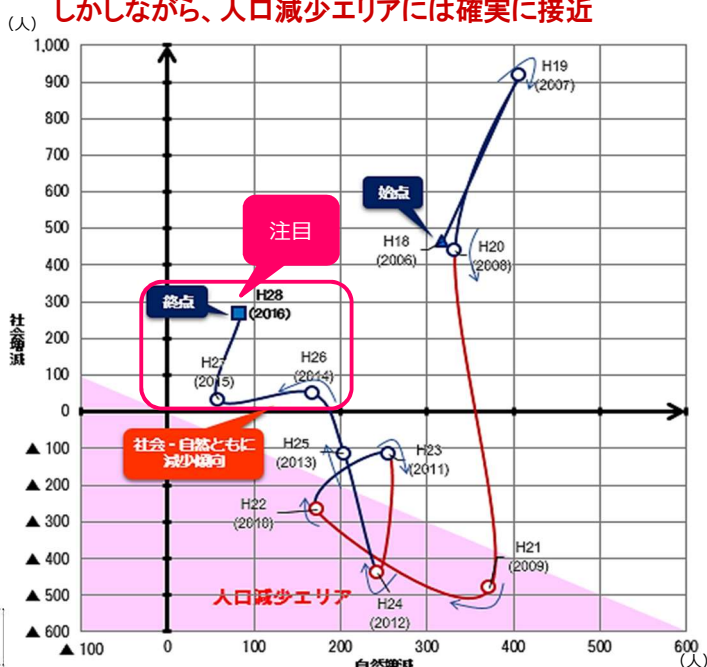
図表1 人口推移と3区分別人口の推移

人口は増（前年比383人増）だが…
少子高齢化は進行（年少▲0.1%・老年+0.5%）



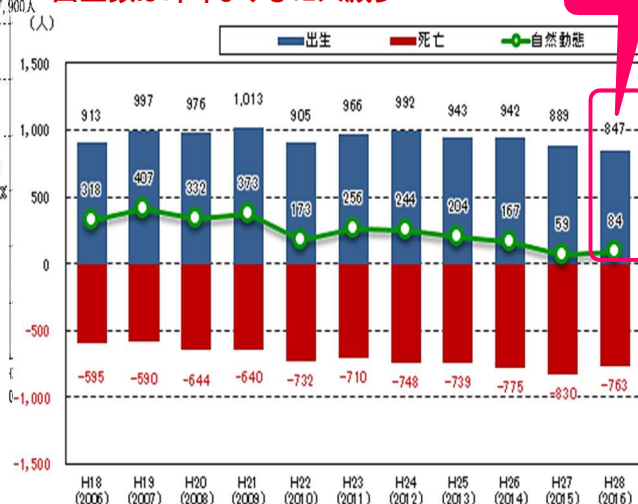
図表2 自然増減と社会増減

社会増減・自然増減ともに若干回復
しかしながら、人口減少エリアには確実に接近



図表3 自然増減推移

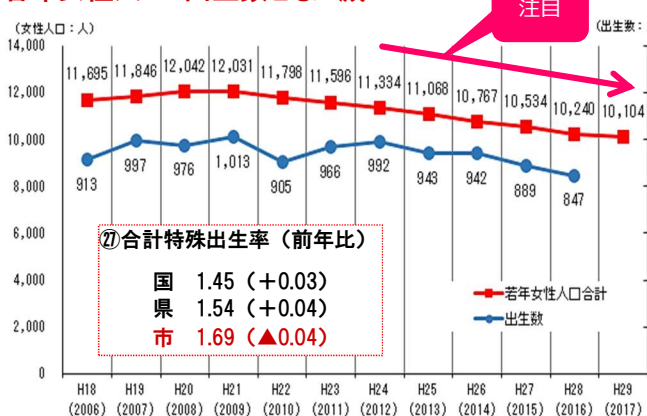
自然増減は増だが、増減差はわずか84人
出生数は昨年よりも42人減少



3. 出生に関する状況（出生数の推移）

図表4 若年女性人口と出生数推移

合計特殊出生率は国・県より高いものの0.04%減少
若年女性人口・出生数ともに減



図表5 母親の5歳階級別出生数の推移

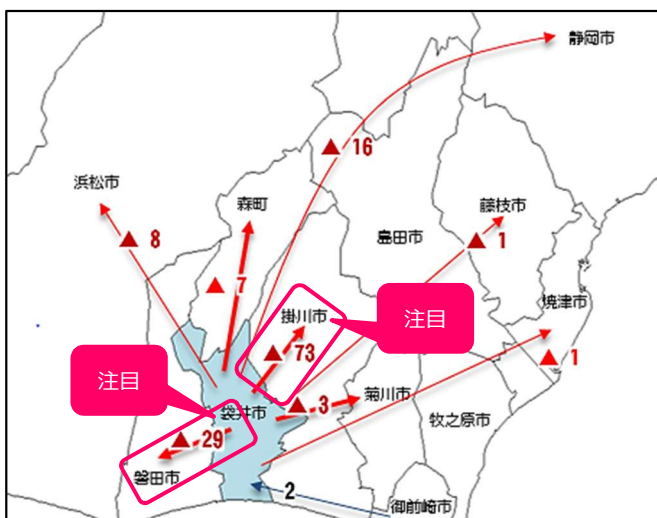
20代の出産は減少、30代前半最多、30代後半も増
晩婚・晩産傾向は依然強い



4. 子育て世代の動向（5歳階級別男女増減数）

図表6 子育て世帯（0～9歳）の近隣市町への転出入状況（H28）

子育て世帯の近隣市町への転出超過が続く



図表7 5歳階級別増減人数

子育て世帯(0～9歳)の転出に歯止めきかず

		H24	H29	増減
年少	0～4歳	4,746	4,274	-
	5～9歳	4,488	4,561	▲185
	10～14歳	4,354	4,436	▲52
生産年齢	15～19歳	4,052	4,285	▲89
	20～24歳	4,619	4,118	66
	25～29歳	5,778	5,023	404
	30～34歳	6,499	6,042	264
	35～39歳	6,964	6,386	▲113
	40～44歳	6,219	6,822	▲142
	45～49歳	4,919	6,093	▲126
	50～54歳	5,232	4,817	▲102
	55～59歳	5,763	5,208	▲24
	60～64歳	6,673	5,664	▲99

5. 他都市との比較（袋井市のポジショニング）

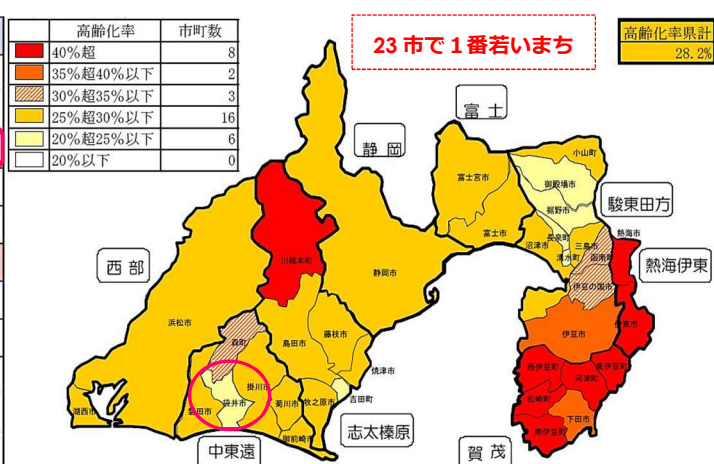
図表8 県人口推計（H29.4）とH27国勢調査（H27.10）比較

県内30市町で人口減少、増加は3市2町のみ

増加人数（人）		増加率（%）	
1	袋井市 362	1	清水町 0.6
2	長泉町 198	2	長泉町 0.5
3	清水町 190	3	袋井市 0.4
4	掛川市 180	4	掛川市 0.2
5	菊川市 63	5	菊川市 0.1
減少人数（人）		減少率（%）	
1	静岡市 -5,568	1	川根本町 -4.9
2	沼津市 -2,941	2	西伊豆町 -4.4
3	浜松市 -2,657	3	松崎町 -3.9
4	富士市 -1,721	4	下田市 -3.4
5	焼津市 -1,337	5	伊豆市 -2.9

図表9 県内高齢化率調査（H29.4.1現在）※県長寿政策課資料抜粋

県内高齢化率は過去最高の28.2%（袋井市22.6%）



挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

人を惹きつける地域資源を活用し、若者が魅力を感じ、集い、住みたい、住み続けたいなど、若い世代を呼び込めるまちづくりに挑む。

取組1 ICT教育環境の充実

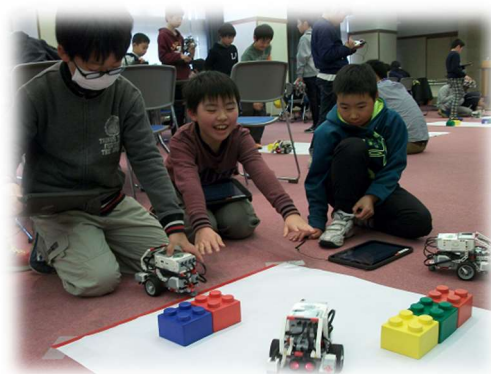
子どもたちの自ら学ぶ力を養い、教職員の子どもとふれあう時間を確保することで、学力の向上に資すると共に、心ゆたかで個性と創造性に富み、21世紀を生き抜く力を持った子どもを育成するため、ICT教育環境の充実を図る。

■わかりやすい授業の実践

授業におけるユニバーサルデザインを推進し、児童生徒の学習意欲と「確かな学力」を向上させる。

■校務の合理化・効率化の推進

児童生徒との触れあいや教材研究の充実を図るため、多様化している校務の合理化と効率化を推進する。



〔写真〕ロボットプログラミング教室風景

取組2 未来を拓く「遠州商人」の育成

将来の地域産業や経済を担う人材を育成するため、より実践的な職業教育を行う新たな高等教育のあり方として、中学卒業後の5年一貫教育を推奨し、タフでグローバルな感覚を持った起業人の育成など郷土を愛する遠州商人を創出させる。

■袋井商業高等学校5年制化の推進

「袋井商業高等学校の5年制化」を提唱し、全国で初となる公立商業高校の高等専門学校の新設を含め、その実現に向けた働きかけを行う。

取組3 静岡理科大学との連携強化

地域や企業との連携を強化し、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

また、地域との交流や地域課題への取組を通じて、地域への愛着を育む。

■新しい事業の創出支援

静岡理科大学と市内企業との交流を深め、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

■地域課題解決型“地（知）の拠点事業”の推進

大学を地域における知的拠点と捉え、地域の課題解決に向けた連携をさらに強化し、学内の知的資源をフル活用する。



〔写真〕静岡理科大学「Rikejo Café」

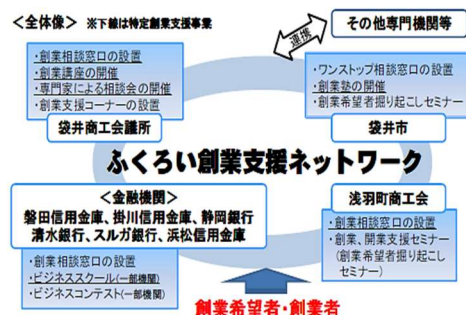
取組4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

防災・減災対策の充実・強化と地域資源を活用した新しい産業の創出と集積に加え、袋井らしいライフスタイル実現の場の創出を目指し、内陸フロンティアを拓く取組を進化させる。

■袋井らしいライフスタイルの創出

■創業希望者の支援

■魅力的な工業用地の確保



取組5 安心して子どもが産み育てられる環境づくり

若者が結婚を機に本市に新居を構え、出産子育ての時期を、安心して楽しく過ごすことができるよう家庭、地域、企業、行政がそれぞれの役割を担いながら連携・協力し、妊娠、出産、子育てまでの段階に応じた多様な支援を行う。

■アクティブ育児応援プログラム推進事業

幼児の体力向上のほか、幼少期の多様な動きの習得や親子の触れ合いの機会の創出など、アクティブな育児環境の実現に向けた社会実装を加速させる。

また、職場優先の企業風土改革などワークライフバランスへの取り組みに加え、世代間の相互扶助の拡充、若者に幼児に触れる機会の創出などにより結婚機運の醸成を図る。

■子ども・子育て支援エリアの充実

■子育て世代包括支援センターの開設



取組6 シティプロモーションの充実・強化

“誇りと愛着のもてるまち”を目指し、自らがシティプロモーションの担い手となって袋井の魅力を磨き、育て、発信できる仕組みを設けるとともに、全国・世界を視野に、本市の都市ブランド力を向上させ、移住・交流人口の増加につなげる活動を展開する。

■「魅力ある袋井」を発信できる人材の育成

本市の潜在性（ポテンシャル）を引き出し、自らが語り部となって情報発信できる人材を育成する。

また、多様なまちの魅力を発信し共感し合う市民の輪を広げ、新たな地域文化を創造する。

■全国・世界に向けた情報発信力の強化

人口の首都圏一極集中を打開するため、移住希望者を視野に情報発信する。

また、本市周辺の大学や専門学校などに留学している外国人の協力のもと、本市の存在を世界に向けてアピールし、交流人口の増加を促す。



〔写真上〕JR名古屋駅シティプロモーション



〔写真右下〕国際交流体験事業ふくろい版ホームステイ

挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

1. 現状と課題

- (1) 「ICT教育環境の充実」については、デジタル教材を駆使したわかりやすい授業の実践を推進するため、3小学校（普通教室・特別支援教室）へ電子機能付きプロジェクター等を導入した。これにより、小学校全校・全クラスへの整備が完了した。今後、全中学校へも順次導入していく。また、未来を先取る教育として、プログラミング教材の導入、教室の開催やインターネット電話（スカイプ）を活用した国際交流実証事業（オーストラリアの生徒との交流）を市内中学校で実施した。さらに、校務の合理化・効率化を推進するため、市内全校に「校務支援システム」を導入し、運用を開始した。
- (2) 「未来を拓く「遠州商人」の育成」については、「袋井商業高等学校5年制化」の推進を図るため、昨年度、県知事及び県教育長に対し「要望書」の提出を行い、県教育委員会において研究会の立ち上げなど、具体的な対応が検討された。引き続き、国や県の動向などを注視するとともに、早期実現に向け、県と連携し対応していく。
[参考] 県「商業教育高度化対応研究委員会」平成29年7月19日設立
- (3) 「静岡理工科大学との連携強化」については、大学と企業の交流を促進するため、袋井市産学官連携推進協議会が「袋井市産学官交流会」を開催した。また、「袋井市と静岡理工科大学との包括連携に関する協定書」（平成25年6月締結）に基づいた取組として、「地域学講座」や「お理工塾」を開催したほか、「地方創生Café Talk」をきっかけとして、「Rikejo Café」（静岡理工科大学の女子学生らで組織するグループ）が、愛野エリアのおすすめスポットをまとめた冊子「Do You Know? I Know!」を発行した。今後も大学との連携による取組を拡大していく。
- (4) 「内陸フロンティアを拓く取組」については、「袋井市静岡モデル防潮堤整備事業」と連携して豊沢工業団地の整備を計画どおり進めるとともに、東名袋井IC付近の工場跡地について、県から新たに「内陸フロンティア推進区域」の指定を受けた。事業の更なる推進に向け、県と連携を強化していく。また、創業希望者や中小企業者の支援拠点として「どまんなかチャレンジプレイス・（併設）静岡県よろず支援拠点西部地区袋井サテライトオフィス」が開設されたことで、きめ細やかな支援体制が確立された。さらに、商工会議所や商工会、金融機関等と連携して策定した「袋井市創業支援事業計画」に基づく創業塾やクラウドファンディング講座などの事業を実施した。今後も継続して事業を実施していく。
- (5) 「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」については、身近な地域で安心して出産できる環境を整えるため、産科医療施設開設者に対して支援を行い、新たに2施設で出産が可能となったほか、市内民間保育園においては、病児・病後児保育が開始された。
また、子ども・子育て支援エリア「育ちの森」や妊産婦・子育て世代のワンストップ相談窓口「子育て世代包括支援センター」を開設したほか、様々な子育て情報を入手できる「子育て応援アプリ（フッピーのぽっけ）」の運用も開始した。今後も継続して子育て支援体制の充実を図っていく。
- (6) 「シティプロモーションの充実・強化」については、「まちの国際化」の実現に向け、国際交流体験事業「ふくろい版ホームステイ」の仕組みづくりに取り組んだほか、外国人による市観光モニターツアーなどを実施し、「まちの国際化に向けたシティプロモーション行動計画」を策定した。また、シティプロモーション動画等を作成し、情報発信力とシティプロモーションの充実強化を図ったほか、JR東京駅及びJR名古屋駅においてシティプロモーションイベントを実施し、本市認知度の向上を図った。

2. 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
1-1 ICT教育環境の充実						- 電子黒板機能付きプロジェクター及びデジタル教材等を3小学校の全76教室に配備☆ [導入校]高南・袋井南・袋井北 - プログラミング教材(教育版レゴ)等を配備☆ [導入校]全中学校 - 小学生対象プログラミング教室開催 (3会場、計104人参加)☆ - インターネット電話(スカイプ)を活用した国際交流実証事業(オーストラリアの生徒との交流)を袋井中(1年生)で実施(2/27)☆ - 校務支援システム運用開始	教育企画課 学校教育課 ICT街づくり課
1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成						H27年度末に県知事及び県教育長に「要望書」提出、県教育委員会において研究会の立ち上げなど、具体的な対応を検討中	市長公室
1-3 静岡理工科大学との連携強化						「袋井市産学官交流会」開催(2/8) 「地域学講座」開催(全4回、36人参加) - お理工塾開催(3会場、63人参加) 「Rikejo Café意見交換会」から発展 愛野紹介MAP「Do You Know? I Know!」発行 - 建築学科開設準備(H29開学)	産業振興課 (H29～) 産業政策課 企画政策課 生涯学習課 市長公室
1-4 内陸フロンティアを拓く取組						- 東名袋井IC周辺産業集積拠点創出推進区域⇒県が内陸フロンティア推進区域に指定(11/1) - 袋井市静岡モデル防潮堤整備事業と連携した豊沢工業団地整備を実施 - どまんなかチャレンジプレイス及び静岡県よろず支援拠点西部地区袋井サテライトオフィスの開設によるきめ細やかな支援体制確立 - 創業支援事業の実施 ◇創業セミナー(2回、35人参加) ◇創業塾(全6回、8人参加) - クラウドファンディングセミナー開催☆ (2/10、90人参加)	産業振興課 (H29～) 産業政策課 建設課 都市整備課 スポーツ推進課 農政課 市長公室 ICT街づくり課
1-5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり						- 子育て応援アプリ運用開始 (H28登録者数1,216件) - 育ちの森、子育て世代包括支援センター開設 - 親子うんどうあそび教室・講演会開催 (30組参加) - 産科医療受入開始(2施設/新設・再開) - 病児・病後児保育開始(ひだまり保育園) - 公立認定こども園「笠原こども園」完成 - 民間保育所(1園)、小規模保育施設(3園)整備完了、家庭的保育施設(1園)開園	すこやか子ども課 育ちの森 健康づくり課 スポーツ推進課 地域包括ケア推進課
1-6 シティプロモーションの充実・強化						- 外国人による市観光地モニターツアー(実地調査)の実施とまちの国際化に向けたシティプロモーション行動計画の策定 - 国際交流体験事業「ふくろい版ホームステイ」仕組みづくり実施 (8/27-28、12/17-18、28家庭参加) - シティプロモーションイベントの実施 (JR東京駅、JR名古屋駅) - シティプロモーション動画等のコンテンツ作成 - 国際化に向けたホームページの改修 - ふくろい市民映画制作、完成	企画政策課 生涯学習課 市民協働課

3. 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😊 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

1-1 ICT教育環境の充実

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
授業がよく分かったと答える児童の割合[↑] 【出典：学校教育課】	%	— (H26)	88.0	91.0			90.0	😊
全国規模の学力調査で全国平均を上回る 科目の割合(小6)[↑] 【出典：第2次総合計画】	%	50.0 (H26)	20.0	100.0			100.0	😊

1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
袋井商業高等学校の5年制化の実現 【出典：市長公室】	—	3年制 (H26)	県知事 要望	県検討			実現	😊

1-3 静岡理工科大学との連携強化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
静岡理工科大学と市内企業の産学交流 研究数(5年間累計)[↑] 【出典：第2次総合計画／工業振興計画】	件	15 (H22~26累計)	4 (H27)	7 (H27~28累計)			20	😊
若者など市民を対象にした学習機会[↑] 【出典：生涯学習課】	回	30 (H26)	38	36			50	😊
大学生との協働活動の実施件数 (5年間累計)[↑] 【出典：企画政策課】	回	1 (H26)	2 (H27)	4 (H27~28累計)			10	😊

1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
利用を特化した公園数[↑] 【出典：都市整備課】	箇所	0 (H26)	特化内容 検討	特化内容 検討			3	😊
公園を利用した展示、販売等のイベント数 [↑] 【出典：都市整備課】	回	1 (H26)	4	3			6	😊
体験ツアー等参加者数[↑] 【出典：スポーツ推進課】	人／年	— (H26)	3,300	3,400			10,000	😊
農業体験ツアー開催数[↑] 【出典：農政課】	回	— (H26)	2	3			5	😊
創業件数 (卸・小売業・サービス業／5年間累計)[↑] 【出典：第2次総合計画】	件	94 (H22~26累計)	17 (H27)	24 (H27~28累計)			130	😊
新たな工業用地の創出面積 (5年間累計)[↑] 【出典：産業政策課／参考：工業振興計画】	ヘクタール	— (H26)	豊沢開発 造成中 (8ha)	豊沢開発 造成中 (8ha)			14	😊

1-5 安心して子どもが産み育てられる環境づくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
運動教室への参加率 (企業等の協力度)[↑] 【出典:スポーツ推進課】	%	— (H26)	83.0	50.0			90.0	☹️
子育てが楽しいと感じる人の割合[↑] 【出典:スポーツ推進課】	%	— (H26)	100.0	H29 調査予定			80.0	—
子育てに関する相談(0～18歳)が切れ目 なく受けることができていると思う保護者の率 [↑]【出典:育ちの森】	%	— (H26)	92.3	100.0			90.0	😊
「育ちの森」(相談支援施設)を利用すること で子どもへの理解が深まった保護者の率 [↑]【出典:育ちの森】	%	— (H26)	88.0	94.0			80.0	😊
生後2ヶ月以内の赤ちゃん訪問の実施[↑] 【出典:健康づくり計画】	%	33.2 (H26)	64.6	75.5			50.0	😊
不安や心配を抱える妊産婦(特定妊産婦・ ハイリスク妊産婦を除く)に支援を行った割合 [↑]【出典:健康づくり課】	%	18.5 (H26)	23.8	86.3			100	😊

1-6 シティプロモーションの充実・強化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
市民情報交流サイト「いいね」の数[↑] 【出典:企画政策課】	件	— (H26)	8,830	12,557			(新)20,000 (旧)5,000	😊
市民映画観客動員数[↑] 【出典:生涯学習課】	人	— (H26)	制作 準備	完成 (H29.4～ 上映)			10,000	😊
全国地域ブランド調査における魅力度の 順位[↑] 【出典:企画政策課(地域ブランド調査結果)】	位	787 (H26)	757	574			300	😊

4. 創生会議等における主な意見 (●…ふくろい部会、■…首都圏部会)

●袋井市の子育て政策は充実しているものの、子育て世代の転出超過等を考えると、情報が届くべき人に届いていないため、市民が「子育てしやすいまち」という実感を持つに至っていないのではないかと。まずは、子育て世代などターゲット層に伝えたい情報が確実に届く情報発信の方法や仕組みづくりに取り組むことが必要。

■定住に向けた取組として、現在、アパートなどの賃貸住宅に住んでいる人が定住に結び付くような政策が必要ではないか。そのインセンティブとして、住宅購入補助金などの直接給付型の給付ではない、別の魅力をつくれるかが重要。

●シティプロモーションは、市が主体となって発信、という形だけでなく、自ら発信したい人が発信したくなる仕掛けが重要。お金をかけず、仲間(賛同者)を上手に使うことで、より効果の高い発信力が持てるのではないかと。

また、情報発信の中心がSNSやインターネットなどであることを踏まえると、イベントや情報にデザイン性を持たせるなど、思わず写真を撮りたくなるような「見せ方」を強く意識することが不可欠。

■教育政策で、全ての子ども達が基礎学力を確実に身につけられる体制を確保することは、子どもの可能性を大きく伸ばし、自己実現やまちを支える豊かな人づくりにつながるため、ICT活用等による質の向上が不可欠。

また、学習過程でのつまづき無くすといった観点からも、幼稚園から小学校、中学校へと続く学びの一貫性を担保する「幼小中一貫教育」は極めて重要かつ、他市町との差別化にも有効。

■金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取り組みを展開するため、次のとおり個別に「特色ある取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

【連携協定の状況】

(H29.7末現在)

No.	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	H27.9.7	「農業」と「食」に関すること (例) 新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	H28.1.19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例) 産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	H28.1.21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例) 農産物の海外輸出と観光 PR
4	掛川信用金庫	H28.2.15	潜在的な労働力の発掘 (例) 女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	H28.2.18	競争力のある商品づくり (例) ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	H28.3.14	まちの賑わいづくり (例) 空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	H28.3.17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例) 住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	H28.3.25	地域を担う人材育成の推進 (例) 実践的な金融経済教育の普及

■金融機関との連携による取組事例

○共通事項（全ての金融機関が参画）

「3 Days Worker's Office 構想」に係る地域内就労の需要供給の実態調査、金融機関支店長会議

○個別事項（協定締結順／H29.7末現在）

- ・ 磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介（山口県宇部市）、ふくろい生涯現役促進地域連携協議会
- ・ 静岡銀行 地方創生特設PRブース設置（袋井支店）、ふくろい生涯現役促進地域連携協議会
- ・ 浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援、クラウドファンディング推進
- ・ 遠州中央農業協同組合 袋井茶のロシア輸出支援、ふくろい生涯現役促進地域連携協議会
- ・ スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
- ・ 静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR

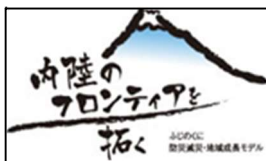


【写真】第3回金融機関支店長会議

■内陸フロンティア推進区域の追加指定（H28.11）

東名高速道路袋井IC付近の工場跡地（約18ha）のうち、東側約11haについて、県から「東名袋井IC周辺産業集積拠点創出推進区域」として、平成28年11月に内陸フロンティア推進区域の第6次指定を受けた。

本区域は、東名高速道路と新東名高速道路のダブルネットワークを活用できる優位性を持つことから、土地を所有する企業と連携し、工場・研究所・高機能型物流施設などの産業集積を進め、魅力ある多様な「働く場」の創出を図る。



【写真上・右】東名袋井IC周辺産業集積拠点創出推進区域図

【写真下】本市の総合特区・推進区域と事業の経緯



【事業の経緯】

H25.3／総合特区第3次指定

- ①（北部）三大都市圏域「食と農」産業集積促進事業
- ②（南部）事業所移転跡地の優良農地化促進事業

命山等を先駆けて整備
⇒沿岸部企業流出防止
(移転発生無し)

H27.10／推進区域第4次指定

- ③袋井市静岡モデル防潮堤整備と連動した次世代産業拠点創出推進区域

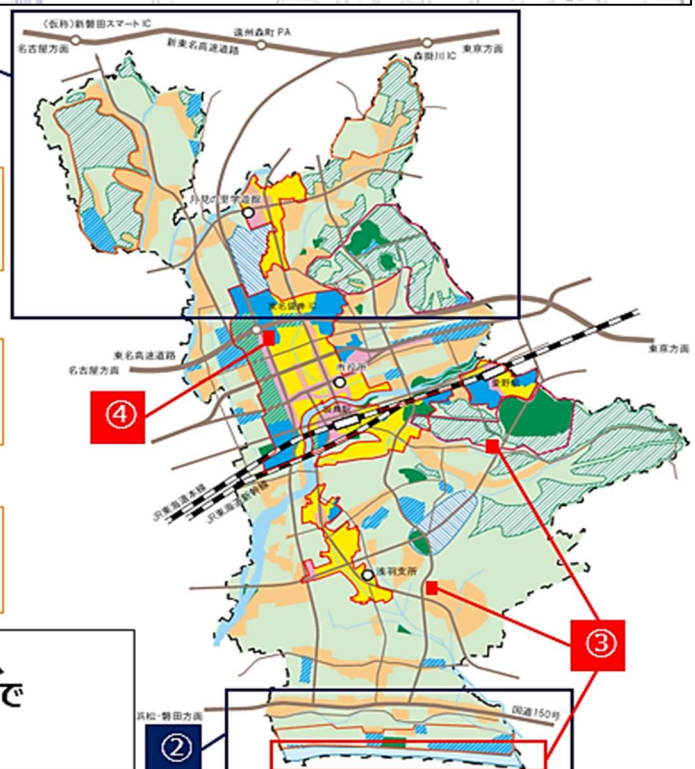
沿岸部の防災対策と企業誘致を一体的に推進

H28.11／推進区域第6次指定

- ④東名袋井IC周辺産業集積拠点創出推進区域

北部特区と連動して高度な産業集積を推進

交通ネットワークを活かした産業活性化、雇用の促進及び防災・減災対策を市全体で一体的に推進



■新たなにぎわい創出に向け、市民一体型イベント「袋井宿開設四〇〇年記念祭」実施

東海道五十三次の袋井宿が開設四〇〇年を迎えるにあたり、「どまん中ふくろいの全国発信」、「新たな地域資源の発掘・創造とまちづくり」、「文化・歴史資源の保全と活用」、「地域力のアップ」を目的として、平成28年10月29日・30日に「袋井宿開設四〇〇年記念祭」を旧東海道袋井宿などで開催した。



◇H28.10.29～30

@旧東海道袋井宿等

約3,000人参加、約55,000人来場

◇時代絵巻パレードなど多数の
歴史あるにぎわいを再現

◇市民の力を結集し、
エネルギーあふれるイベントを実現

[写真上] にぎわいをみせる「袋井宿開設四〇〇年記念祭」

■映画×若者が魅力を感じるまちづくり 市民映画「映画をつくろう」プロジェクト

ふるさとの魅力発見と映画づくりによる一体感の醸成を目的として、平成28年の夏休みに市内小中学生を対象とした「映画をつくろう」プロジェクト（全7日間）を実施。

子どもたちが困難にぶつかりながらも本気で取り組んだ映画づくりの様子を、本市出身の池田千尋監督が70分のドキュメンタリー映画に仕上げた。

監督 池田千尋さん（袋井市出身）

「袋井市の自然や文化の中で子どもたちや大人が
本音で話し合い、
分かりあいながら映画づくりという夢を
達成していく姿を

『夢を形に出来るマジックタウン』として表現した」



M a g i c T o w n

4月2日公開！

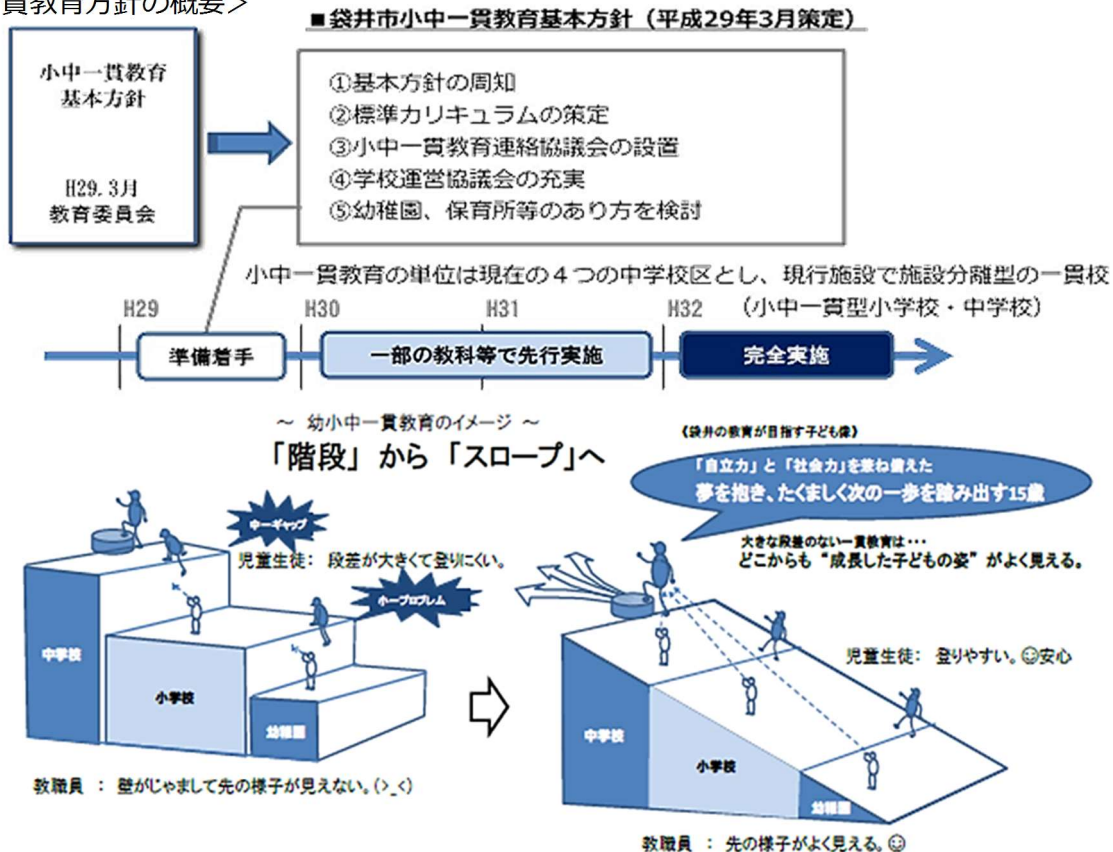
[写真右] 市民映画「Majic Town 完成試写会」ポスター



■「小中一貫教育基本方針」を策定

本市教育委員会では、袋井市小中一貫教育検討委員会（会長：熊倉啓之静岡大学教育学部教授）における検討結果を踏まえ、3月24日に「袋井市小中一貫教育基本方針」を策定。学力の向上や不登校の減少など本市の教育課題を改善するとともに、義務教育の9年間で「これからの社会を生き抜く上で必要とされる力」の基礎を確実に身につけさせるため、小中一貫教育を導入する。

＜小中一貫教育方針の概要＞



■県内初の「建築学科」を静岡理科大学が開設

静岡理科大学（理工学部・情報学部）は、平成29年4月に県内の大学で初となる建築学科（入学定員：50人）を理工学部を設置した。芸術分野のデザイン系から建築設計を学ぶ学科（大学）は県内にもあるが、工学分野で建築構造、建築環境・設備、建築設計を統合的に学べる建築学科は初めてとなる。



私立理工系総合大学として

新たな一歩を踏み出す！

◇新校舎「建築学科えんつりー」

◇設 計 古谷誠章+NASCA



挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

市民の生活に潤いと安らぎを与える「袋井らしさ」を追求し、地域資源とICTの結合などにより、地域経済を支える産業の生産性の向上と活性化に挑む。

取組1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

本市を代表する観光拠点である遠州三山を中心に、情報発信を強化し、国内外からの観光交流客の誘客と滞在時間を増やすプランの創造やおもてなし環境の整備を推進する。

■新しい賑わいの場づくり

「ここならではの」のお土産づくりやメニューの充実、統一感のある門前（雰囲気）づくりのほか、四季折々のイベントを開催するなど、年間を通じた賑わいの場づくりを推進する。



〔写真上〕法多山門前ごりやくカフェ

〔写真左〕統一感のある門前づくり（パンフレット）
門前通りひんやりスポットひんやりスイーツ

■非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造

遠州の古刹めぐり「遠州三山自分巡礼の旅」を基に、歴史的建造物や仏像などを巡るプランのほか、修行体験や精進料理の作り方教室など、地域資源を活用した非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造により誘客の促進を図る。



〔写真〕可睡齋ひなまつり

■国内外に向けた情報発信の強化

SNSの活用や首都圏・中京圏の旅行会社等の招聘など、本市を知り、実際に訪れてもらうまでの戦略的なアプローチを視野に入れた情報発信を行う。

主要観光施設へのWi-Fi環境の整備のほか、パンフレットや案内標識、ホームページ等の外国語対応を充実させ、インバウンド観光の受入体制の強化を図る。



〔写真〕ラグビーフェスタinエコパ

取組 2 農業の未来を創るプロジェクト

基盤整備や作業の効率化による生産性の向上のほか、「強み」のある産地形成に向けた作付け転換、異業種連携や農業法人を含む担い手の育成など、新しい農業を拓く取組を推進する。

■畑地管理の適正化と農地の有効利用

茶畑の作業効率と生産性の向上に向けた基盤整備と集積を図るとともに、茶の転換作物などの研究を推進し、「強み」のある産地形成を図り、農業者所得の向上と耕作放棄地の解消を目指す。

■水田のフル活用と地域に親しまれる米づくり

人・農地プランや農地中間管理機構を活用し、意欲のある担い手への農地集積と水田の高機能化により、生産性の向上と高度利用を図る。また、「(仮称) 水田市民農園」を開設し、市民生活に潤いとやすらぎを与えるとともに、米の地産地消の推進を図る。

■クラウンメロンの更なる飛躍

熟練生産者の生産技術を検証し、ICT等を活用した業務の標準化（マニュアル化）をすることで、技術の継承と新規就農を促すとともに、安定した高品質メロンの生産と出荷増を図る。

取組 3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

トレーサビリティをはじめとした安全、安心な体制の確立と産地表示などと併せた知名度の向上などの取組により、国内外のさらなる販路拡大を図る。積極的な販売促進活動を通じた消費者ニーズの獲得により、クラウンメロン等のブランド力のさらなる強化を図る。

■農産物の外的評価の推進

品質や安全性などの農産物の付加価値を高めるため、産地表示、機能性表示、GAP認証などの外的評価制度を活用し、消費者や取扱業者から選ばれる商品づくりを推進する。



【写真】タイ王室にクラウンメロン献上

■農産物の海外輸出の拡大

ロシアや東南アジアなど、新たな市場の開拓に向けた販売促進活動を展開するほか、EU諸国や米国等への輸出を含め、競争力のある商品づくりと確かな商流の確保に努める。

■クラウンメロンのブランド力の強化

消費者ニーズの更なる獲得に向け、加工品の開発やターゲットを絞った販促活動を実施し、ブランド力の強化と魅力ある商品づくりを促進する。全国のメロン産地のネットワーク化により、果実界におけるメロンの地位復活を目指す。



【写真】ふじのくに袋井うまいもんフェア
in東京スカイツリータウン®

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

1. 現状と課題

- (1) 「遠州三山“寺のある暮らし”推進プロジェクト」については、新しい賑わいの場づくりとして、法多山では産学官金労が連携した「門前再興プロジェクト」により、門前の空き店舗活用等の検討を行い、新しい商品を開発するとともに、空き店舗での年末年始の飲食店実証実験を行った。今後、引き続きプロジェクト会議を開催し、門前活性化の具体的な内容を検討するとともに、事業を実施していく。また、本市の豊かな自然や情緒ある古刹など、“場のチカラ”を活かし、「ふくろい」らしいライフ＆ワークスタイルの提案として、ICTを活かした「サテライトオフィス」社会実験について、法多山門前の空き店舗を活用し、株式会社大和コンピューターと合同で実施した。今後、「サテライトオフィス」誘致の実現を目指し、実証実験を継続して実施する。
- (2) 非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造や国内外に向けた情報発信の強化を目的として、国際交流体験事業「ふくろい版ホームステイ」の滞在中おもてなし交流プログラム開発やおもてなし多言語ガイドの作成を行った。また、農など本市固有の地域資源を活かした、「ふくほまれ収穫体験」等の新たな観光ツアー（ニューツーリズム）を開発・実施した。今後は、まちの国際化を進める事業とも連携を図りながら、それらを活用した観光ガイドの育成等、外国人観光客受入体制の整備を進めるとともに、本市内に賦存する四季折々の資源の発掘や活用により、年間を通じた賑わいの創出に取り組んでいく。
- (3) 「農業の未来を創るプロジェクト」については、株式会社大和コンピューターがICT技術を活用したメロン栽培を自社農場で実施した。また、メロンの養液栽培技術の本格的な普及を目指し、地元農家や企業とともにコンソーシアムを立ち上げ、農林水産省の実証事業に採択されるとともに、販売を行うための株式会社を設立した。今後も同社の取組について、定期的に情報収集や意見交換を行う。さらに、新たなビジネスの創出を目的とした「ふくろい農商工交流会」を開催した。
- (4) 「世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立」については、農産物の外的評価の推進を図るため、GAP（農業生産工程管理）の認証取得を促進した。今後も引き続き取得を促進していく。
- (5) 農産物の海外輸出の拡大については、タイ・マレーシアへの市長トップセールスを実施した。また、ブランド力向上と国内外の富裕層への認知度向上を目的として、ANA（全日空）羽田空港国際線スイート（最高級）ラウンジでの提供を行った。引き続き、香港やタイなど東南アジア圏での販路拡大に向け、取り組みを加速していく。
- (6) クラウンメロンのブランド力の強化を目的に、「全国メロンサミットinほこた」に参加したほか、スカイツリーにおいて「ふじのくに袋井うまいもんフェアin東京スカイツリータウン®」を開催した。また、ピューレを利用した加工品の販売促進を積極的に進めたことで需要が高まり、規格外メロンの販路が確立され、市場外流通も大きく増加した。以上の取組により、海外輸出や国内消費が拡大し、箱単価の売上が過去最高となった。

2. 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
2-1 遠州三山「寺のある暮らし」 推進プロジェクト						・「門前再興プロジェクト会議」の開催 (6/1、12/9) ・法多山門前空き店舗での年末年始の飲食店 (カフェ・ラーメン店)実証実験の実施 ・おもてなし英語(多言語)観光ガイド作成☆ (英語、韓国語、中国語[繁体語・簡体語]) ・可睡齋「ひなまつり」 ・まちじゅうひなまつりプロジェクト ・国際交流体験事業「ふくろい版ホームステイ」 の滞在中おもてなし交流プログラム開発☆ ・「サテライトオフィス社会実験」の実施 (10/12-18、法多山門前) ・ニューツーリズム商品の開発・実施 ◇花火タイアップ郷土芸能鑑賞ツアー (8/6-7、293人参加) ◇きら香茶摘み体験ツアー (5/4、17人参加) ◇クラウンメロンとふくろい探訪ツアー (8/21、30人参加) ◇ふくほまれ収穫体験(10/1、16人参加)	産業振興課 (H29～ 産業政策課) 市長公室 ICT街づくり課
2-2 農業の未来を創る プロジェクト						・ICT技術を活用したメロン栽培 ⇒株式会社大和コンピューター(本社:東京都) が自社農園(浅羽南地区)で研究開発 ・メロン養液栽培販売会社設立(4/11) ・「メロン養液栽培による循環型農業コンソーシ- アム」農林水産省実証事業採択(4/21) ※コンソーシアム…大和コンピューター、 豊田肥料、理工科大学、地元農家、農協、 市で組織 ・ふくろい農商工交流会開催 (1/24、120人参加)	農政課 ICT街づくり課
2-3 世界で戦える農産物と ビジネスモデルの確立						・「グローバルG.A.P.」の認証取得および更新☆ (H29.3現在 クラウンメロン生産者21人) ・J-GAP認証取得および更新 (H29.3現在 市内茶生産者6件) 茶ピア、やまも製茶、秋田製茶、にしたな 金井製茶、丸益産業 ・タイ及びマレーシアへの 袋井農産物トップセールス☆(7/13-19) ⇒香港・タイ等海外輸出☆H28実績 約1,500ケース出荷 ・羽田空港ANA国際線「ANA Suite Lounge」(最 高級ラウンジ)にてクラウンメロン試験提供☆ (12/24-1/3) ・「第2回全国メロンサミットinほこた」参加☆ (6/4-5) ⇒毎月6日が「メロンの日」に決定 ・ふじのくに袋井うまいもんフェアin東京スカイツ リータウン®開催☆(11/19、約6,000人来場) ・クラウンメロンの加工品販売促進 ⇒取扱企業H28実績「森永製菓・ハイチュウ 静岡クラウンメロン味」など41社	農政課

3. 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😊 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

2-1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
観光交流客数[↑] 【出典：第2次総合計画 ／観光基本計画(後期計画)】	万人 ／ 年	423 (H26)	466	464			468	😊
主要観光拠点のWi-Fi設置数[↑] 【出典：観光基本計画】	件	2 (H26)	3	4			10	😊

2-2 農業の未来を創るプロジェクト

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
耕作放棄地解消面積[↑] 【出典：農業振興ビジョン】	ヘクタール／年	10.7 (H26)	5.6	18.1			11.0	😊
農業法人数[↑] 【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	社	34 (H26)	34	35			39	😊
利用権設定面積[↑] 【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	ヘクタール	960 (H26)	961.8	966.9			1,075	😊

2-3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
お茶の海外輸出量[↑] 【出典：農政課】	トン／年	10 (H26)	10	7			15	😞
メロン加工品取扱企業の数[↑] 【出典：農政課】	社	31 (H26)	35	41			35	😊

4. 創生会議等における主な意見 (●…ふくろい部会、■…首都圏部会)

●若い世代の東京一極集中など、社会構造的な問題に対応していくには「ふるさと志向」の教育が大切。学校も重要だが、その仕組みの中に地域の人が多く関わり、地方の暮らしならではの「豊かさ」をしっかりと伝えていけるかがポイント。

また、同窓会等のイベントは、出会いや仕事、暮らし方などを考えるきっかけとなり、有効ではないか。

●RWC2019開催は、世界に向け発信できる絶好の機会であることから、グローバルな視点を持ち、ふくろいの「おもてなしのこころ」に触れられる仕組みを作っていくことが大切。

また、「スポーツ」と「観光」は、国の成長戦略でも重点項目に位置付けられていることから、今後「エコパ」をどのように活かしていくかは、袋井市にとって極めて重要なポイントとなる。

■RWC2019での来袋外国人受入体制として、クレジットカード導入などの「キャッシュレス化」はもはやグローバルスタンダード(社会的要請)である。外から稼ぐ力を強化していくには、決済システムの整備は不可欠。これからは、スマホアプリによる決済など、「非接触型決済環境」がメインとなっていく見込み。

■IoTなど時代の変化が速く、かつ人生100年の時代においては、子どものみならず、どの世代も学び直しや再チャレンジできる機会が大切。

また、全体の底上げを図ることと併せて優秀な人材の育成も必要であり、それがこの地域での創業を促すことや、ふくろいから「上場企業」を誕生させる視点につながっていく。

■官民連携による定住促進に向けた取組

本市の人口動向の特徴として、「子育て世代」の転出超過が挙げられ、その対策が急務となっている。

そのため、本市では、静岡県労働金庫と平成28年3月に締結した「地方創生推進連携協定」(取組テーマ：若者の定住促進)に基づく具体的な取組の第一弾として、「子育て世代」の来場が多数見込まれる「ろうきん住宅フェスティバル」に本市を含む中東遠5市1町が参加し、定住促進に向けたPR活動を行った。



〔写真上〕第28回ろうきん「遠友会」住宅フェスティバル



〔写真上〕静岡県理科大学「Rikejo Café」も参加

〔写真下左〕本市の子育て・教育をPR

〔写真下中・右〕子育て世代で賑わう会場

◇H29.5.27～28 @エコパアリーナ

1,006組来場(約4,000人)

◇静岡県労働金庫と袋井市の

「地方創生推進協定」に基づく初の取組

◇住宅メーカー・金融機関・行政が

一体となり中東遠地域への定住をPR

◇各市町がそれぞれの子育て・教育や

定住支援など、特色ある取組をPR

〔写真下〕5/28(日) 静岡新聞 朝刊



立場から同時に情報発信する意義は大きい。効能」と強調した。(袋井支局 伊藤 太)

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

いつまでも光り輝き社会を支える人（アクティブ・シニア）づくりと将来にわたって、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築とあわせ、医療費の適正化に挑む。

取組1 プラチナ社会の実現への取組

労働力人口の減少、高齢者人口の増大などへの対応と地域課題への解決に資する新たな働き方（生きがい就労）を創出し、市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちの実現を目指す。

■3Days worker's office構想の推進

高齢者をはじめ、子育てや闘病などを起因に、フルタイムでの就労が困難な方などを対象に、「生きがい就労」という新しい働き方を創出し、需要供給の総合調整のほか、ジョブトレーニング等の支援する仕組みを構築する。

〔注〕3Days worker's office構想とは

…「暮らしの安心」と「生きがい」を感じながら、生涯活躍ができる仕組み

働く喜び、見つけてみませんか？



袋井市の持続的発展に向けて求められる『新しい働き方』の創出

■ 担い手不足解消、高齢者の健康長寿・自立促進に向けて、従来の労働市場を越えた高齢者等の「活躍機会」の拡大、「新しい働き方」の実現により、**地域・産業・市民の持続的発展（『三方よし』）を目指す。**

高齢者等 市民	・ 生きがい・充実感・有用感、健康維持・増進 ・ 所得向上 ・ 互助・共助による生活利便・安心の担保
産業・企業	・ 担い手確保による事業継続、収益拡大 ・ 周辺業務の高齢者へのアウトソース等を通じた、生産性向上 ・ セカンドキャリア形成支援等による、成長分野等への円滑な労働移転推進
地域	・ 事業活動の維持・拡大による価値創出、所得向上 ・ まちづくり、地域活動・市民活動の活発化、福祉向上 ・ 医療・介護に係るコスト・負担の軽減



〔写真上〕高齢者の新たな就労に係る座談会

〔写真左〕「3Days worker's office構想」の理念

■小さな拠点づくり推進事業

誰もがアクセスしやすい場所に医療施設や金融機関、公共サービス施設を集約させることで、車に頼らず、“年をとっても暮らしやすいまち”の創出を目指す。

取組2 セルフメディケーションの推進

2025年問題への対応と医療費の抑制に向け、病院や診療所など、限りある地域の医療資源を持続的かつ効果的に利用するために、診療情報の共有化と自己の健康状態を常に把握できる社会基盤を整備する。

〔注〕セルフメディケーションとは… 自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること

■「地域共通診察券」の導入プロジェクト

- 健康実態の分析調査（ビックデータの統計・分析処理）
- 地域共通診察券の導入

取組3 歩いて楽しいまちづくり

市の中心核であるJR袋井駅周辺区域と約2.5km北に位置する健康・福祉・スポーツ機能集積エリアまでの区域内を“歩いて楽しい”健康的なまちづくりの先導区域として空間整備する。

■歩いてみたくなる空間の整備

高齢化の進行に伴う医療費等への財政負担を軽減するため、従来から本市で取り組んでいる“歩く”の視点に立って、歩行者主役の心地よい空間を整備する。



〔写真上左・中〕ふくろい宿de花マルシェ



〔写真上右〕なかなか遺産認定

■ウォーキングや健康増進のための活動拠点の整備

ウォーキングや健康増進などに取り組む人達が、集い、交流することができる空間を整備する。

取組4 自転車を活かしたまちづくり

平坦地が多いことや温暖な気候など、自転車利用に適した環境を活かし、自転車利用の推進によって、市民の健康を維持・増進するとともに、医療・介護費等の削減につなげ、「日本一健康文化都市」の実現を目指す。

■自転車を活用した新しいライフスタイルの提案

市民の身近な移動手段である「自転車」を日常生活に取り入れ、新たなライフスタイルの実現に向けて「自転車」の持つメリットである「健康」、「経済」、「環境」、「時間」の4つの分野に分け、各種事業を実施していく。



〔写真〕電動付きアシスト自転車貸出、購入補助

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

1. 現状と課題

- (1) 「プラチナ社会の実現への取組」については、生涯現役活躍できるまち（3 Days Worker's Office 構想）の実現に向け、平成27年度に実施した基礎調査及び方向性整理を踏まえ、労使双方や就労支援機関などを交えた「高齢者の就労に係る座談会」の開催や、「職場見学会」、「おためし就労」など、「新しい働き方」に向けた実証事業を実施したほか、本構想の理念を「地域、産業、市民の『三方よし』を目指すもの」と整理した。今後については、本構想の実現に向け、厚生労働省の事業である「生涯現役促進地域連携事業」の活用により財源を確保し、事業を確実に実施できる体制を整えていく。
- 〔参考〕「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」平成29年4月26日設立
厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業」平成29年6月14日採択
- (2) 「小さな拠点づくり」の推進として、地域内の絆や支え合いの仕組みづくりを促進し、地域の魅力最大化と持続可能な新しい地域コミュニティの先導的なモデル創出を目指すため、社会教育の拠点である浅羽西公民館を一部増築し、「モノ」が行き交う場（DOMA）と「ヒト」や「コト」の出会いの場（ENGAWA）を整備する「EMGAWAマーケット@浅西」実施計画を作成、内閣府から「地方創生拠点整備交付金」の採択を受けた。今後については、本計画に基づき施設増築工事等を実施するとともに、地域生活を支える拠点施設（コミュニティセンター）として活用していく。
- (3) 「セルフメディケーションの推進」については、本市に糖尿病が多い現状を踏まえ、食品摂取頻度などのデータ分析を行い、その結果の整理と対策を検討するとともに、市民の健康意識の向上と健康的な生活習慣の定着を促すため、地域コミュニティの中心である「公民館」を会場に地域の健康づくり関係者や自治会、市が連携し、健康への理解を深める「地域健康寺子屋」について、地域で開業する歯科医師・薬剤師及び運動指導者を講師に招き、全公民館で教室を開催した。今後については、データ分析等の結果を踏まえ、企業（協会けんぽ）との連携やICT機器の導入などにより、本事業などを通じて広く市民の健康リテラシー向上を図るとともに、ロコミなどで健康意識を広める（無関心層への働きかけを行う）地域のインフルエンサー育成に注力していく。
- (4) 「歩いて楽しいまちづくり」については、歩いてみたくなる空間を創造していくため、国から採択を受けた補助事業（都市再生整備計画事業）に基づき、「袋井宿開設四〇〇年メモリアル広場整備」及び「袋井宿開設四〇〇年記念祭」を実施した。今後については、都市再生整備計画に基づき、引き続き袋井駅南地区における自歩道や公園の整備などを進める。また、「ミズベリング」（原野谷川の水辺空間を活用したイベント）など、公園や道路、河川をはじめとする公共空間の多面的かつ創造的な利用に向けた社会実験を実施していく。
- (5) 「自転車を活かしたまちづくり」については、自転車を活用した新しいライフスタイルの提案を行うため、電動アシスト付き自転車補助金の交付や電動アシスト付き自転車貸出、自転車を活かしたまちづくりモデル路線（市道掛之上祢宜弥線など）整備に向け警察等関係機関と協議を行った。今後については、現行事業を継続するとともに、モデル路線整備について検討していく。

2. 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
3-1 プラチナ社会の実現への取組						・「3Days Worker's Office構想」☆ □「地域内就労需給実態調査」を踏まえた仮説の設定 □労使双方や就労支援機関などを交えた「高齢者の就労に係る座談会」の開催（11/28・12/11、26団体出席） □「新しい働き方」に向けた実証事業の実施 ◇大人の社会科見学（2/16）20人参加 @ダイオ化成、三宝会、どんどこあさば、オールライフサービス、デンマーク牧場 ◇おためし就労①（3/24-25）にんにく皮むき @オールライフサービス、2人参加 ◇おためし就労②（3/31）福祉施設風呂清掃 @三宝会、2人参加 □構想の詳細設計（理念）「地域、産業、市民の『三方よし』を目指すもの」 ⇒厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業」の採択に向け準備 □啓発動画、チラシ作成 ・地域の縁側づくり 「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画作成☆ ⇒「地方創生拠点整備交付金」採択（2/24） ◇縁側づくり（事務室の増築）と土間（底）の設置 ◇備品購入（老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新）	しあわせ推進課 産業振興課（H29～ 産業政策課） 市長公室 市民協働課 企画政策課 地域包括ケア推進課 健康づくり課 都市計画課 生涯学習課
3-2 セルフメディケーションの推進						・糖尿病予防・撃退に向けた要因分析 ◇食品摂取頻度調査 ◇塩分摂取調査 ◇分析調査の整理と対策の検討 ・地域健康寺子屋開催 ◇歯科医師（口腔ケア）@7会場、150人 ◇薬剤師（薬）@7会場、208人 ◇運動指導者（ロコモ予防）@14会場、417人	健康づくり課 地域包括ケア推進課 市民課
3-3 歩いて楽しいまちづくり						・袋井宿開設四〇〇年メモリアル広場整備 ・袋井宿開設四〇〇年記念祭開催（10/29-30） @旧東海道袋井宿付近、約3,000人参加、約55,000人來場 ・ふくろい宿de花マルシェ開催（6/11） @宿場公園、約3,000人参加 ・旧中村洋裁学院（現文化交流施設「どまんなかセンター」） 県内初「なかなか遺産」認定（3/25） ※国登録有形文化財	企画政策課 都市計画課 都市整備課
3-4 自転車を活かしたまちづくり						・電動アシスト付き自転車補助金（市内在住60歳以上に1万円／人を補助） ⇒44件延べ44万円補助 ・電動アシスト付き自転車貸出事業（市内在住60歳以上に最長3ヶ月間） ⇒38人に貸し出し ・モデル路線（市道掛之上称宜弥線など）整備に向けた警察等関係機関との協議	企画政策課

3. 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😊 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

3-1 プラチナ社会の実現への取組

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
健康寿命の延伸(到達者度)[↑] 【出典：第2次総合計画 ／健康づくり計画(県健康増進課)】	年	男17.51 (県内15位) 女20.87 (県内20位) (H24)	男17.44 (県内19位) 女20.86 (県内21位) (H25)	男17.46 (県内24位) 女20.77 (県内21位) (H26)			男17.69 (10位以内) 女21.17 (10位以内)	😞
子育て世代の社会移動[↓] 【出典：市長公室】	世帯	△60 (H26)	△80	△80			均衡 (±0)	😞

3-2 セルフメディケーションの推進

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「地域共通診察券」参加医療機関数[↑] 【出典：地域包括ケア推進課】	機関	— (H26)	未実施	未実施			39	😞

3-3 歩いて楽しいまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
JR袋井駅南北連絡線利用者数[↑] 【出典：企画政策課】	人／日	8,098 (H26)	8,134	H30 調査予定			10,000	—

3-4 自転車を活かしたまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
1週間に1回以上自転車を利用する 人の割合[↑] 【出典：自転車を活かしたまちづくり指針】	%	20.3 (H26)	—	16.6			25.0	😞

4. 創生会議等における主な意見 (●…ふくろい部会、■…首都圏部会)

●人材不足の産業界で高齢者の活用はとても重要。「生涯現役活躍」のとおり、これからは少なくとも70歳まで現役となっていく。一方、高齢者雇用が進まない原因として、雇用者側のリテラシーが低いことが最も大きい。

雇用者の意識を「どうしたら高齢者の力を活かして生産性を向上させるか」という方向に変えていくかが非常に重要。

●高齢者が活躍するには、雇う側のマインドチェンジと併せて、雇う側のニーズにマッチするよう働く側のトレーニングや働き手をまとめ調整する仕組みも必要。

また、高いスキルや強い自己実現意欲のある高齢者については、その経験やスキル、思いを活かし、自ら創業することも選択肢としてあり得るのではないかな。

■働き方改革が進む中、地方においても年齢や働く場所を問わない「多様な働き方」を進めていくことが必要。

●健康づくりなどの各事業で成果を出していくには、「無関心層」へのアプローチが非常に重要。この層のリテラシー向上には、行政からのプッシュ型情報提供ではなく、極めて分かりやすく魅力を感じる内容に情報を加工した上で、各々に最も有効なチャンネルで情報が届く仕組みづくりが必要である。

このようなしくみが整うことで、住民が政策の効果や実感を得やすいまちにつながるのではないかな。

■厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業」採択！

「3 Days Worker's Office構想」の早期実現に向け、厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業※」に「ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業」が6月14日付けで採択された。

申請に先立ち4月26日、市やシルバー人材センター、商工会議所など13団体にて構成される「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」を設立し、役員選任や地域ぐるみで高齢者の就労や活躍機会の促進に取り組むことで合意。今後は、本協議会が事業主体となり、「①高齢者の担い手づくり」、「②高齢者の新しい働き方・しごとづくり」、「③高齢者・企業 双方に対する普及啓発」のための各事業を行う。

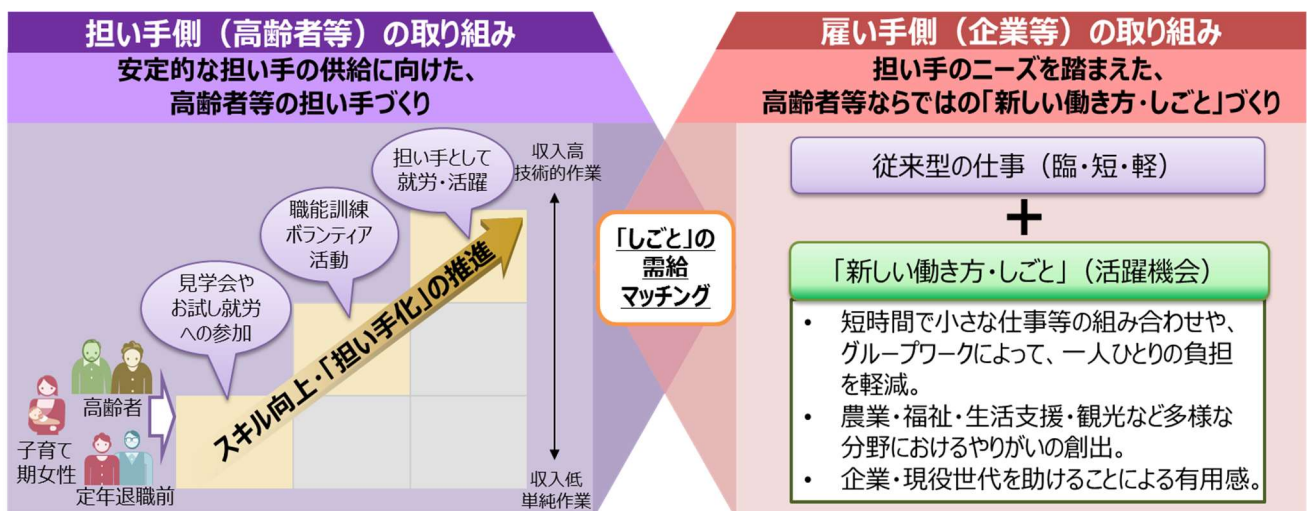
※生涯現役促進地域連携事業の概要

■事業の概要

少子・高齢化が進展する中、健康で就労意欲のある高齢者が、年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会の実現」に向け、国（厚生労働省）が、地方自治体を中心に労使関係者や金融機関等で構成される「協議会」等から、高齢者の雇用・就労促進や情報提供など、地域の特性を踏まえた創意工夫ある「高齢者の雇用に寄与する事業構想」を募集し、コンテスト方式で選定した上、委託により事業を実施するもの

- 事業期間 最大3年間（平成29年度～平成31年度）
- 事業主体 協議会等（地域自治体を中心に労使関係者で組織する合議体）
- 事業実施形態 厚生労働省（県労働局）から協議会等への委託による
- 事業規模 各年度2,000万円程度（国費10/10）
- 実施団体 全国35団体程度（第1次募集：20団体採択／第2次募集：3団体採択）

＜生涯現役活躍できるまち（3 Days Worker's Office構想）の全体イメージ＞



3 Days Worker's Office 構想の新たな愛称

TaskAru（タスカル）

Task（しごと）がある → タスカル（助かる）

高齢者等の新たな就労や活躍機会の創出により、高齢者自身だけでなく、若者や企業・団体、地域が互いに助かる（互助）の社会の実現を目指す



〔写真上〕「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」設立総会

第4章 戦略を支える取組〔第2次総合計画（再掲）〕

評価指標の達成度

〔評価基準：達成 😊 順調 😊 概ね順調 😊 低調 😞 〕

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

4-1 活力みなぎる産業のあるまちづくり

（参考：国の政策分野1）地方における安定した雇用を創出する

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
満足のいく雇用機会に恵まれている と思う人の割合[↑] 【出典：市民意識調査】	%	— (H26)	21.4	25.8			50.0	😊
製造品出荷額等（従業員4人以上）[↑] 【出典：第2次総合計画／工業振興計画】	億円 ／年	4,957 (H25)	5,175 (H26)	H29.10 県公表 予定			5,340	—
観光交流客数[↑]※再掲 【出典：第2次総合計画 ／観光基本計画（後期計画）】	万人 ／年	423 (H26)	466	464			468	😊
主要農産物産出額[↑] 【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	億円 ／年	77.6 (H26)	73.3	70.6			75.7	😞

4-2 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

（参考：国の政策分野2）地方に新たな人の流れをつくる

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
袋井市が住みよいところと思っている 人の割合[↑] 【出典：市民意識調査】	%	73.3 (H26)	66.4	67.3			80.0	😞
地区計画などの実施面積[↑] 【出典：第2次総合計画】	ヘクタール	299 (H26)	299 3箇所 協議中	299 3箇所 協議中			360	😊
一人1日あたりの可燃ごみの排出量[↑] 【出典：市民意識調査／参考：環境基本計画】	グラム／日	518 (H26)	529	529			512	😞
公共施設のWi-Fiスポット設置割合[↑] 【出典：第2次総合計画／参考：ICT推進計画】	%	42.5 (H26)	45.0	57.5			87.5	😊
住宅の耐震化率[↑] 【出典：第2次総合計画／参考耐震改修促進計画】	%	91.3 (H26)	92.0	92.6			94.4	😊
浸水被害想定家屋数[↓] 【出典：第2次総合計画 ／参考：中部豪雨災害対策アクションプラン】	戸	295 (H26)	295 高尾放水路 整備中	295 高尾放水路 整備中			261	😊
人身事故件数[↓] 【出典：第2次総合計画 ／参考：第9次交通安全計画】	件／年	775 (H26)	758	720			740	😊

4-3 こどもがすこやかに育つまちづくり

(参考:国の政策分野3)若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「自分が住んでいるまちが子どもを産み、 育てやすいところ」と感じている人の割合[↑] 【出典:市民意識調査】	%	— (H26)	49.3	38.9			80.0	😞
合計特殊出生率[↑] 【出典:第2次総合計画】	%	1.71 (H25)	1.73 (H26)	1.69 (H27)			1.81	😞
保育所待機児童数[↓] 【出典:第2次総合計画 ／参考:子ども・子育て支援事業計画】	人	30 (H27)	25 (H28)	27 (H29)			0	😊
全国規模の学力調査で全国平均を上回る 科目の割合(小6・中3)[↑] 【出典:第2次総合計画】	%	50.0 (H26)	10.0	100.0			87.5	😄

4-4 市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

(参考:国の政策分野4)時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「地域の絆や支え合いの仕組みが 形成されている」と感じている人の割合[↑] 【出典:市民意識調査】	%	— (H26)	43.3	37.0			80.0	😞
お達者度(男性／女性)[↑]※再掲 【出典:第2次総合計画 ／健康づくり計画(県健康増進課)】	年	男17.51 (県内15位) 女20.87 (県内20位) (H24)	男17.44 (県内19位) 女20.86 (県内21位) (H25)	男17.46 (県内24位) 女20.77 (県内21位) (H26)			男17.69 (10位以内) 女21.17 (10位以内)	😞
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の 割合[↓] 【出典:第2次総合計画／健康づくり計画】	%	9.2 (H25)	9.7 (H26)	10.3 (H27)			7.8	😞
総合健康センターでの総合相談件数[↑] 【出典:第2次総合計画】	件	2,500 (H26想定値)	2,080	2,495			2,900	😞
自治会加入率[↑] 【出典:第2次総合計画】	%	87.5 (H27)	87.2 (H28)	86.4 (H29)			89.5	😞
協働まちづくりセンター登録団体数[↑] 【出典:第2次総合計画】	団体	46 (H26)	52	58			66	😊
「男女共同参画社会づくり宣言」 宣言事業所の数[↑] 【出典:第2次総合計画 ／第3次男女共同参画推進プラン】	事業所	30 (H26)	39	49			47	😄

第5章 地方創生交付金等の活用状況

○平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

第1弾

㊦2月補正⇒㊦全額繰越

総額：116,161 千円

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【消費喚起・生活支援型】
- 事業費 72,653 千円（国費10／10）
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
地域における消費喚起策「元気はつらつクーポン券」（プレミアム付き地域商品券）の発行
発行冊数：33,000 冊、発行総額：396,000 千円（プレミアム率 20％／66,000 千円）

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型／基礎分】
- 事業費 43,508 千円（国費10／10）
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
・「地方版総合戦略」の策定のほか、まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業
ICT教育の充実強化（電子黒板の導入）、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、
全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

第2弾

㊦11月補正

総額：20,000 千円

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型／上乗せ交付（タイプⅠ）】
- 事業費 10,000 千円（国費10／10）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要
・「3 Days Worker's Office 構想」策定事業
「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型／上乗せ交付（タイプⅡ）】
- 事業費 10,000 千円（国費10／10）
- 交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付（施策の推進費）
- 施策の概要
・まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、タブレットを活用した学習支援の社会実験
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

第3弾 ㉗ 2月補正⇒㉘全額繰越

総額：80,000 千円

○交付金名 地方創生加速化交付金

○事業費 40,000 千円 (国費10/10)

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

「3 Days Worker's Office 構想」実装化事業

- ・基礎調査（㉗実施）により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

○交付金名 地方創生加速化交付金

○事業費 40,000 千円 (国費10/10)

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

「グローバル戦略」加速化事業

- ・TPPを見据えたクランメロンの輸出促進
新興国市場での需要喚起と販路拡大（トップセールス、海外バイヤー招聘ほか）
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備
市民の英語力向上（英検受験助成ほか）、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

○平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

第4弾 ㉘ 9月補正

総額：50,000 千円

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目）

○事業費 50,000 千円 (国費1/2)

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「ふくろい版グローバルイノベーション戦略」（H28-H30）

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
市PR動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、ロボットプログラミング教育支援 など

第5弾 ㉘2月補正⇒㉙全額繰越

総額：16,000 千円

○交付金名 **地方創生拠点整備交付金**○事業費 **16,000 千円** (国費1/2)

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「地域の縁側づくり「ENGAWA マーケット@浅西」実施計画」

- ・縁側づくり（事務室の増築）と土間（庇）の設置
 - ◇ENGAWA（事務室）ヒトとコトの交流ゾーン/DOMA（庇）モノの交流ゾーン
- ・備品購入（老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新）

**採択
内閣府**○平成29年度 **「地方創生事業の加速」****第6弾** ㉙当初

総額：50,000 千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（2年目）**○事業費 **50,000 千円** (国費1/2)

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「ふくろい版グローバルイノベーション戦略」(H28-H30)

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

**採択
内閣府****第7弾** ㉙交付予定（国委託事業）

総額：20,000 千円

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（1年目）**○事業費 **20,004 千円** (国費10/10)

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「ふくろいTaskAru ネットワーク（3 Days Worker's Office 構想推進）事業」(H29-H31)

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

**採択
厚労省**

■輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関の支店長により構成する「金融機関支店長会議」をそれぞれ設置し、次のとおり会議を開催した。



【ふくろい部会（委員：6人）】

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.19（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.21（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.8.29（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換 企業版ふるさと納税

【首都圏部会（委員：10人）】

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.12（火）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.31（金）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.8.29（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換 企業版ふるさと納税

【金融機関支店長会議（委員：8人）】

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.26（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」策定方針について
2	H27.7.29（水）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H27.10.20（金）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」（公表）について意見交換 ①人口ビジョン、②総合戦略／政策パッケージ
4	H28.3.2（水）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について（調査依頼）
5	H28.7.22（金）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について
6	H29.2.15（水）	袋井市役所	平成29年度当初予算の概要について 3 Days Worker's Office構想について

第6章 参考資料 [やрмаいか通信 (抜粋)]

会 議 地方創生会議

聞く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議

地方創生 やらまいか通信 vol.56

発行日：平成28年3月16日

創生会議「ふくろい部会」議論再開

地方創生の推進に向けた契機。
出たのは、議論の場。市町村、立ち上げの場をいかに乗り越えるか……
従来の発想にとらわれまいと取りあふれた交流が力。

日：平成28.2.29 第3回創生会議（ふくろい部会）
場：（仮）市庁舎17F会議室

人口は微増（増減比19.4%）

市内2市で市町村の減少。
人口増加は限内2市1町ののみ

（藤原市・磯原市・長良谷町）

市町村	人口数（人）	増減率（%）
1 藤原市	1,109	1.8 増加
2 磯原市	1,527	2.4 増加
3 長良谷町	1,000	0.0 増減
4 市町村合計	3,636	1.4 増加
5 市町村合計	18,917	19.4 増加

市町村	人口数（人）	増減率（%）
1 市町村合計	15,281	-18.0 減少
2 市町村合計	4,462	-2.5 減少
3 市町村合計	4,462	-2.5 減少
4 市町村合計	4,462	-2.5 減少
5 市町村合計	4,462	-2.5 減少
6 市町村合計	4,462	-2.5 減少
7 市町村合計	4,462	-2.5 減少
8 市町村合計	4,462	-2.5 減少
9 市町村合計	4,462	-2.5 減少
10 市町村合計	4,462	-2.5 減少

図表1 人口数と人口増減率と市内人口の推移

市町村人口は87,774人（H28.1現在。前年対比19.4%増）と増加し、市域人口を上回るものも、自然増減・社会増減も少ない。

合計特出出生率0.02ポイント改善をも 若年女性人口の減少が抑えて、出生率は改善。初めて500人を超えながら、自然増減も、わずかなプラス59人となっている。

また、子育て世代の出産超過は止まりながら、高齢者の増加に代わって出生率が増減。

聞く「ふくらむ」まち・ひと・しごと創生会議

地方創生 やらまいか通信 vol.57

発行日：平成28年9月14日

地方創生の実現に向けた立ち上げは順調。

戦略を絞り込み、戦力を集中して・・・
失敗を恐れず挑戦することが大事。

山口県内各市町村で人口減少
山口県内各市町村で人口減少
山口県内各市町村で人口減少

人口は微増（前年比 19 人増）

県内 32 市町で人口減少
人口増加は県内 2 市 1 町のみ
（姫島町・保寿村・長門町）

Year	Population (万人)
H27	671,500
H28	672,000
H29	673,400

人口増加は県内 2 市 1 町のみ
（姫島町・保寿村・長門町）

子育て世代の近郊区への転出傾向が顕く
0-9 歳の子どもを持つ世帯の転出に止まりきらず

[illegible]

挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議

地方創生 やらまいか通信 vol.62

発行日：平成28年10月5日

電子黒板機能付きプロジェクター

小学校 全校（全クラス）完全導入

ICT×教育 “わかりやすい授業の実践”

（注：宮内小学校（H27より導入校）

奈良県教育情報化推進計画
（イメージ図）

導入校 ↑

導入校	教室数	導入状況
H27	37教室	導入済み
H28	97教室	導入済み
H29	76教室	導入済み

1年待機し（整備速度的に追加）

全 210 教室

（H28 100%整備）

輝く“ふくろう”まち・ひと・しごと創生企画

地方創生 やらまいか通信 vol.71

発行日：平成28年12月1日

英語教育の充実強化

ラグビーワールドカップ2019を契機としたまちの国際化に
向けて、国際交流員（CIR）2名を登用。好評！活発中！
（写真）「ハロー・イングリッシュ」の様子

幼児

▶ 『ハロー・イングリッシュ』プログラム

国際交流員（CIR）の2名が市内幼稚園等を訪問し、園児と交流。
幼時期から他国の文化に親しむをもってもらうプログラムを展開中。

（左端）
市内の公立幼稚園、私立幼稚園、
公立保育園の6園児（全18名程度）

オーストラリア出身

ニュージーランド出身

輝く“ふくらみ”まち・ひと・とこ・と未来を創生

地方創生 やらまいか通信 vol.82

発行日：平成28年2月27日

輝く未来へ。発案が動き出す！ ～挑戦するDNAを呼び起こせ～

プログラミング学習の充実・強化

技術

クラブ活動

『教育版レゴ』 マイナビストーム®

～市内全4中学校に完全配備～

「技術科」授業やクラブ活動で実践

教育版レゴ **マイナビストーム**

組み立て教材を使って、最先端のロボット技術に触れる

マイナビストーム

組み立て教材を使って、最先端のロボット技術に触れる

教育版レゴ **マイナビストーム**

組み立て教材を使って、最先端のロボット技術に触れる

教育版レゴ® マイナビストーム® は MIT マサチューセッツ工科大学と
共同開発により生まれたロボット学習基盤

【ロボット教材を使ったプログラミング学習】

ロボット教材にアイコンを並べてプログラミングする簡単なソフトを使って、「止まる」「動く」などのロボット制御の命令を通して、プログラミング能力の習得だけでなく、問題解決能力や創造力、論理的思考力を養うことが期待されています。

※ 詳細は、各中学校のホームページをご覧ください。

QRコード

輝く「ふくろい」まち・ひとと社会創生会議

地方創生 やらまいか通信 vol.63

発行日：平成29年10月25日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！

「サテライトオフィス社会実験」実施

日：10/25(木)9:10-10:18 場：ほろ山亭大ホール2階通リ

袋井（ふくろい）らしい

“新しいライフ&ワークスタイル”を提案する

(サテライトオフィス社会実験の概要) ～働き方と休み方のデュアル改革に挑戦～

10/12 (木)	10/13 (金)	10/14 (土)	10/15 (土)	10/16 (日)	10/17 (月)	10/18 (火)
1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
自社事業での就業実習			休日の過ごし方		Androidアプリ開発	
799-5						
異業種交流会 (市内官庁建築会)			市内観光		Lunch Meeting 会談会場探訪	
社内懇話会			市JA2歳賀 ほろ山亭大ホール			

輝く“ふくろう”まち・ひと・しごと創生会議
 地方創生 やらまいか通信 vol.88
 創刊日：平成28年2月25日

ICT 教育×まちの国際化

Skype を活用した異文化・経済事業（実証事業）

What kind of anime is famous?
 未来へつながる 授業をつくる

N202.57 筑井中学校

自ら学んだ英語で…オーストラリアの同年代の生徒との交流が実現

skype

～ 生の英語と異文化に触れる ～

(文京校)
 St. Ursula's College
 クイーンズランド州
 クイーンズランド州
 1918年創立
 カトリック系私立学校
 14歳～15歳の生徒

オーストラリア出身で本年度から国の国際
 交流員（C・I）として活動しているマザ
 ー・ベイツ氏（英吉利）の働きかけで実現。

オーストラリア出身で本年度から国の国際
 交流員（C・I）として活動しているマザ
 ー・ベイツ氏（英吉利）の働きかけで実現。

輝く“ふろく”まち・ひと・しごと創生会議

地方創生 やらまいか通信 vol.98

発行日：平成29年3月29日

輝く未来へ、森井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

袋井初 公立認定こども園
(H29.4 オープン)

子育てするなら袋井市の実現に向けて

日：H29.3.25 場：宮崎こども園

本市で初めてとなる公立認定こども園「森井市立宮崎こども園」が完成。
統合に伴い、笠原幼稚園と笠原保育所は廃止し、60年余の長い歴史に幕を閉じた。

新たな施設は、笠原小学校区（放課後児童クラブ専用）も併設し、
せいろ児童から小学生までが共に過ごす施設に生まれ変わりました。

【施設概要】
鉄骨造り平屋 1,115㎡
定員：90人
(幼児40人／保育所50人)



挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.54
発行日：平成28年9月25日

世界へ飛び出せ “made in FUKUROI” 農産物の海外輸出支援

積極的な海外プロモーションで販路開拓
(タイ・マレーシア編)

クラウンメロンをはじめ、袋井産農産物（お茶やトマト等）の販路拡大と需要の喚起を目的に、タイ・マレーシアでの市長トブゼラールを支援。

(日程) 平成28年7月13日～7月19日 (4泊7日)
(協力) V Foods Co., Ltd.、P&F Techno Co., Ltd.、東京西果(株)、(株)松源、住友商事(株)、JETRO、JA静岡経済連、JA遠州中央、農林水産省、外務省、静岡県【東南アジア駐在員事務所】、静岡県道農業協同組合クラウンメロン支所

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.59
発行日：平成29年9月16日

口福な“田からもの” ～ふくろいのいいところを見つけよう～

「ふくほまれ」は、県内有望の米どころ「袋井」で生まれた新品種。一穂が3粒7かりの1.5割の太さを、甘くてふくかな食感が特徴。田んぼで「ふくほまれ」の収穫体験をし、産地からお米の秘密が分かります。大人はもちろん、お子様（稲米の最新さき）の参加も大歓迎！

【開催日】平成28年10月1日(土)
【参加費】1,500円【昼食・土産付き】/【定員】20名【先着順】
【主催】袋井市観光協会 0538-43-1006

地方創生「社会課題」～抜粋～
【議題2】ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦／農業の未来を創るプロジェクト
●お米を学ぶ活用と地域に繋いでおく米づくり
一、農産ブランドや農産中間管理機構を活用し、農産物のふるさとへの農産物産地と水田の調和性により生産性の向上と高度利用を図る。また、「(産地) 水田市民農園」を開発し、市民生活の豊かにする取り組みをとおし、地域の活性化を図る。

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.74
発行日：平成29年12月16日

ANA×クラウンメロン ～世界中のVIPを虜に～

国際線“最高級ラウンジ”での提供
期間：H29.12.26～H29.1.6
場所：羽田空港 ANA 国際線 ANA Suite Lounge

●ANA 最高級ラウンジへの提供によるブランド力の向上
●ANA 国際線を利用する国内外の富裕層への認知度向上
●食料品を通じた高品質な産地イメージの発信

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.80
発行日：平成29年2月2日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！ ～挑戦するDNAを呼び起こせ～

ふくろい農商工交流会

“稼げる農業”の実現に向け 新たな出会いを求め、農業者自らが動き出す！
初開催 120名参加

日：H29.1.24 場：総合センター
袋井市農業振興会が農業者のニーズをもとに、農、工、食、教育などの業者が交流し、新たなビジネスの創出を目指す初のふくろい農商工交流会を開催。
当日は、市内の食料や観光・農産物などの加工業者をはじめ、小売や食品加工、飲食店などの担当者から、農業者の生産性向上や販路拡大に向けた交流が活発に行われました。

【第1部】農業振興交流会
講演「農商工連携を成功させる農業者とは」
講師 稲垣建設労働事務所 代表 稲垣誠
内容 農商工連携の現状と穴
成功する農商工連携の秘訣など
【第2部】ふくろい農商工交流会
この取組は地方創生推進官に受託し、JA遠州中央、浜松信用金庫、静岡市農業センターに支援いただきました。

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.84
発行日：平成29年3月16日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！ ～挑戦するDNAを呼び起こせ～

地域×クラウドファンディング

クラウドファンディングセミナー開催
～FAAVO 静岡～ 地域に、チャレンジを促す文化を
日：H29.2.10 場：総合センター
90名参加

～取り組みのPRも兼ねる、全く新しい資金調達手法～
クラウドファンディングは、様々な地域課題やアイデアをクラウド上で集めることで、その取り組みに共感した全国各地の人々から資金を集めることができるサービスです。
融資や補助金、助成や助成ではない、全く新しい資金調達手段として世界で注目を集めています。インターネット上で支援を集めるという特性上、取り組み自体の認知度が広がっていくという効果（PRの部分）も資金調達と一緒に行うことができます。

【セミナーの概要】
(1) 導入型クラウドファンディング FAAVOの仕組みと事例紹介
講師：静岡新聞社・静岡放送 総合メディア局メディア事業部 副部長 久保田直也 氏
(2) FAAVO 静岡でのプロジェクト経験者の発表
講師：(株) あらしまし代表取締役 戸田由紀 氏

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.95
発行日：平成29年3月24日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！ ～挑戦するDNAを呼び起こせ～

日本政策金融公庫「総裁賞」受賞

“お茶の宝王国” ～創業120年 茶専門店6代目の挑戦は続く～
優良経営 茶葉小売店

【写真】市長への受賞報告/H29.3.22 市長の授賞状にて
農業無数ある一帯の自産茶葉から各種茶葉商品を自製自販する茶専門店
・白濁産 100%茶葉で造った日本茶が世界経済コンテストでダブル受賞
・地元農業者とコラボして多数の茶加工品を開発 (例) お茶に漬けた、ほうじ茶からうんちゅう・すもも茶にお茶の風味を付けた特製茶「お茶で楽しむお茶カフェ」等を展開

優良経営茶葉小売店の発展ととは…
地産地消の経済効果を創出し、優れた経営成績を上げていく全国の中小の食品小売店、茶葉小売店および食品流通の活性化、環境対策、地域活性化等と共に行う期間中、組合等を通じて表彰することにより、優良茶葉小売業者等の顕彰と食料品小売業者の発展に資することを目的とした表彰制度。
●主催 公益財団法人食品流通振興協会
●後援 農林水産省、日本経済新聞社、日本政策金融公庫

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.73
発行日：平成28年12月5日

高齢者の新たな就労に係る座談会

3Days Worker's Office 構想の策定に向けて

日：平成28年12月28日 場：総合センター

座談会「高齢者の新たな就労に係る座談会」を開催。高齢者の就業促進に向けた実証事業として、受け入れ側の企業の協力を仰ぎ、その実現性や有効性について実証する事業。

○協力事業所 株式会社 オールライフサービス

○体験者 大人の社会科見学 (H29.2.26開催) に参加した者のうち、新たな職場や地域での活躍を体験したい希望者 (2名)
【参加】「やらまいか通信 vol.89」

○実施 日 H29.3.24 (金) ～3.25 (土) 2日間

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.89
発行日：平成29年3月16日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！ ～挑戦するDNAを呼び起こせ～

「大人の社会科見学」

～高齢者の就業促進に向けた実証事業～

日：平成29年2月16日(土) 午前8時30分～午後5時00分
参加者 30人(高齢者10人、若者20人)

time	訪問先・場所	内 容
8:30	袋井市役所	集合・出発
9:00～10:00	ダイオ化成 (株) 袋井工場	商品の品質管理やピーキング (片側作業は1人)
10:30～11:45	社会福祉法人 (三宝会) 袋井の園	デイサービス、認知症など認知症作業、特別養護施設、食事の配膳手助け
12:00～13:00	だんごおきば	レストラン内での接客や調理補助、おからで市場、野菜の品出し・レタ打ち
13:30～14:30	(株) オールライフサービス	工場：たねおの産産や野菜、調理：自社農産物の調理
15:00～16:00	社会福祉法人デンマーク牧場福祉会	牧場：羊や牛の世話、搾乳、牧場の掃除
16:30	袋井市役所	到着・解散

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.96
発行日：平成29年3月27日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！ ～挑戦するDNAを呼び起こせ～

「お試し就労」職業体験

～高齢者の就業促進に向けた実証事業～

新たな就労の機会に挑戦、黒に包むの袋井茶葉作業

この事業は、3Days Worker's Office 構想の策定にあたり、高齢者の就業促進に係る座談会等での意見を踏まえ、高齢者等が市内で求められている「しごと」を知る方策（体験）として、受け入れ側の企業の協力を仰ぎ、その実現性や有効性について実証する事業。

○協力事業所 株式会社 オールライフサービス

○体験者 大人の社会科見学 (H29.2.26開催) に参加した者のうち、新たな職場や地域での活躍を体験したい希望者 (2名)
【参加】「やらまいか通信 vol.89」

○実施 日 H29.3.24 (金) ～3.25 (土) 2日間